

平成 17 年 8 月 17 日

4 号機における原子炉隔離時冷却系タービン油圧の不具合について

4 号機は平成 17 年 8 月 16 日より原子炉を起動中ですが、8 月 17 日午前 4 時 17 分から原子炉圧力 1.03MPa での原子炉隔離時冷却系*の確認運転を実施した結果、その機能は満足していることを確認しましたが、原子炉隔離時冷却系タービン軸受油圧が所定の圧力まで上がらず、警報が発生しました。

(添付図「原子炉隔離時冷却系系統概略図」参照)

原因調査のため、本日午後 5 時頃より原子炉圧力を 1.00MPa 程度まで降下させ、当該油圧系を点検することといたしました。

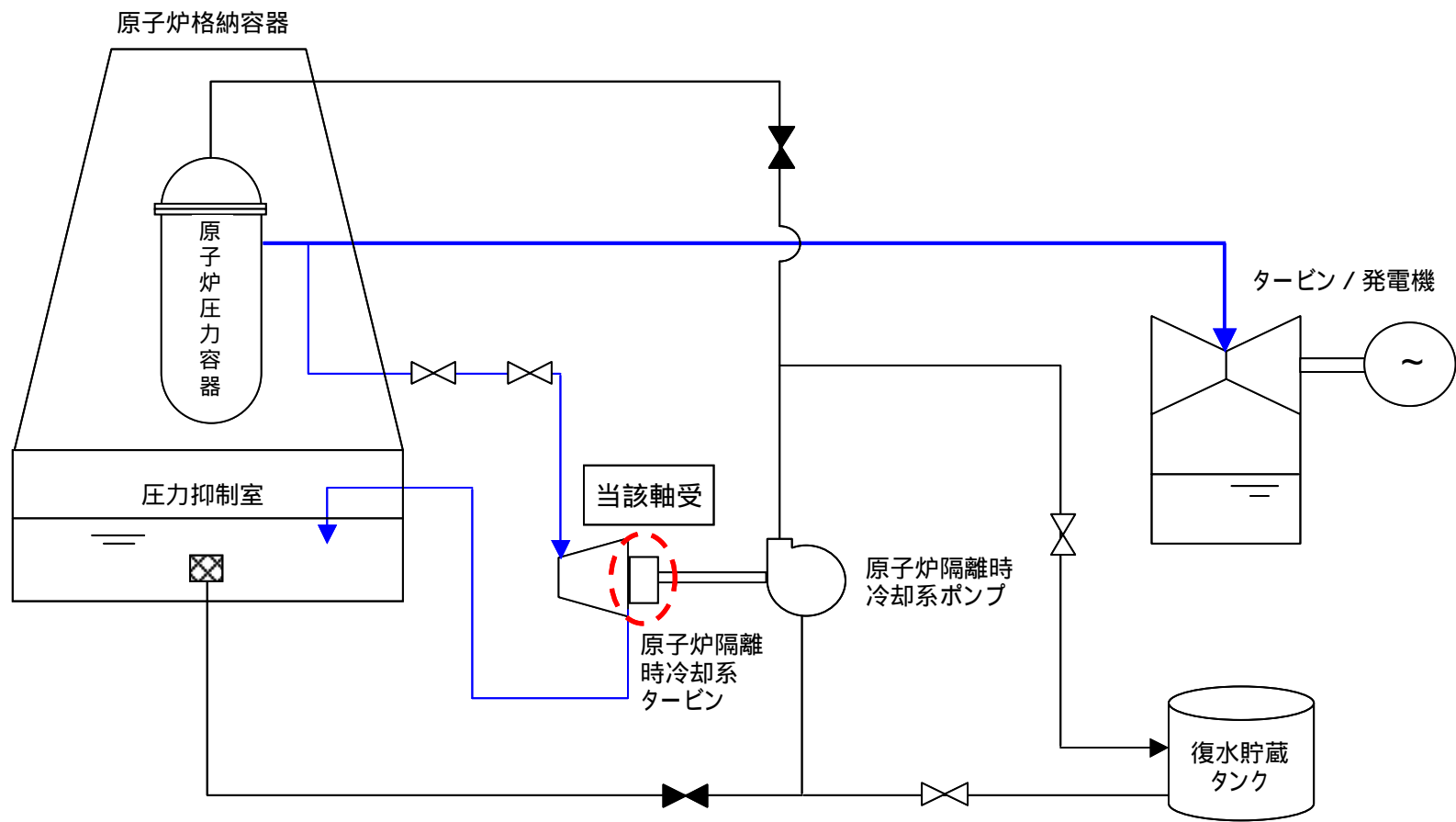
なお、これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

*：原子炉隔離時冷却系

何らかの原因により、通常の原子炉給水系が使用不可となり、原子炉水位が低下した場合等において、原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し、原子炉の水位確保および炉心の冷却を行う系統。なお、本系統は非常用炉心冷却系ではない。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」(平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み)における、区分 に該当するものとしてホームページに掲載したものです。



原子炉隔離時冷却系 系統概略図